おうかそもののあべると

とののちんしあるかれるののあんるとう

明 通言の 女者 通言 海田

祖之人之子を大機二十者指成為古

おうかれもののあべると

あるののある 久 本かをおれはきて 町 あいにっているとかかありたってったう 此版的:多一 とのの好人ところとなるのの男人るとな れるけらばあるかへいっけ ちの此成内的 and the same

る日よろかのゆうろくあくかいいはなる人行る あっはかっていたろくんしのかまだろ まってからのあるのく いから成のさておる 白地のでするちのあてるかでなってんうの様ろ 歩くくかてをもるあすていてをなるべり 中をうかってうかってくらいうちはるかの二月ろ かかうのあろであってあるを接るくかかうる

ころみりるうてあらるとやてたるかであ なるあら田ろいつくいつつつけずとこうなり 大月、かれてではたちはまかつとかったい あんきやからるからてくなる 赤きをするかってい金りはなるでの 白文にはってきていたこと はらかまて

らのけらるしまりかないけらちよい相

八月代至此五九一月五 というてんきいわられ 八月七八江

のほるないないるえはんなん 八角了才品在於左兵里三年刊代時書 やまないるからんさうか いの人をうちいから人後美の在名美 のないと

の更名ではておうなので見近後かっての言な 秋の湯きるのおの湯とすくちゃーとなる 三面的校がら一松中六月、ありなる あうのきるあかか 在多品福在近金子方去高品中的五年 れていうなられるとはかかいかうるることい なのこなるかいあれるからはあるのいか 丁焼きのまる吹きるれなる

あえてん中 るいかした

おいからない、あいかとのとはなりは日本の子人が正好るの様とからないとうとのとのはないというではあるからないというではるからで

見かまから、此般内でとうて、一者の

励えて~か む中につくな

、養殖、かり

What was being a will be a superior

こうかかからないとう、「風かなないから」

これからなる



